

SDGs(14)を目標に、天草の海の生物多様性を学ぶ！先端技術を活用した人材育成

活動地域  熊本県



リモート指導者養成講座「海レク」開催

課題

地域住民の海への関心が低く、定量的な海の生物調査はほとんど行われていない。海を活用する人材が限られており、子どもたちが地域の海について学ぶ機会は限られている。

目標

天草の海の生物多様性を明らかにし、天草の海を学ぶ教材を整備する。水産業が持続的に行われるなど、海を活用し、保全する人材を増やす。



今後の展望

干潟やアマモ場だけでなく、磯など多様な沿岸域の生態系に関する生物調査を実施する。先端技術を活用した水質調査も取り入れ、海の調査を発展させる。VR動画教材を製作し、教材を活用した指導者養成を進める。

つづける助成

1年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- ①天草市御所浦のアマモ場で生物調査を1回実施し、生物マップを制作した。アマモ場調査はFacebookのライブ配信を行った(リモート配信1,562PV)
- ②動画教材2本「みんなに伝えたい天草の海 栖本干潟編・御所浦アマモ編」を製作しHPに公開した。指導者向けの海のデジタル教材「天草・海の冒険サポーターズテキスト」第6・7章を制作しHPに公開した
- ③リモート指導者養成講座「海レク」を全16回開催した。海レクはYouTubeで全国の不特定多数に向けて配信し、動画閲覧数合計1,136回となった



アマモ生物調査ライブ配信

アマモ場の生物調査 1回

リモート指導者養成講座開催 16回

今年度計画の達成度 70%

目標達成度 70%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス・豪雨・大型台風と災害が続き、集客した対面のイベントが開催できず苦労した。

■工夫した点

アマモ場の生物調査は、水中ドローンを用いてリモート配信を行った。指導者養成講座はYouTubeでリモート配信した。

〒861-6303

熊本県天草市栖本町馬場215

E-mail: amakusaumibu@gmail.com

HP: https://umi-bu.com

